総合体育大会 尾張地区予選

2021/4/17

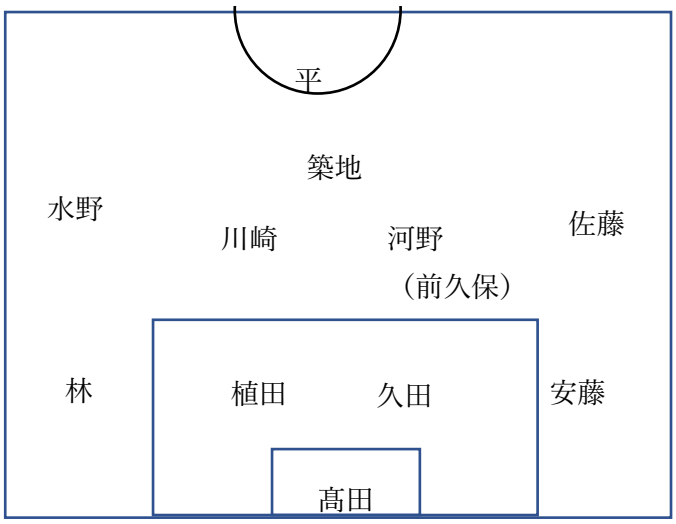
対　尾北高校

会場：県尾西高校Ｇ

本日のスタートメンバー

試合結果

丹羽　0　［ 0 － 1 ／ 0 － 1 ］　2　尾北



高校総体の予選が始まった。昨年は新型コロナ感染症の蔓延により中止となったが、今年度は感予防対策を講じた上で開催できることになった。

多くのチームにおいて３年生はこの大会で高校の部活動に区切りをつける。本校も例外ではない。勝利で有終の美を飾りたいのは当然であるが、まずは、開催していただけることに感謝することを忘れてはならない。

前夜から降り続く雨によりグランドコンディションはご覧の通りで、第１試合後の準備の都合上、試合は定刻の１２：３０から１５分遅れて開始された。双方、グランドコンディションを考慮して、ロングボールで DF ラインの裏を狙う戦術であるが、

本日のグランドコンディション

積極的にセカンドボールを拾う尾北がやや優勢であった。何度か丹羽ゴール前にボールが運ばれる中で、前半１４分に丹羽ペナルティーエリア内でボールをカバーした相手に対し、丹羽 DF が背後からプッシングのファウルを犯し、尾北にペナルティキックが与えられた。キックは GK の裏をつき、ゴール中央に決まった。

その後も同様の展開が続き、後半１７分には、尾北が右サイドからクロスを入れ、中央の選手を経由して丹羽 DF を引きつけ、反対サイドからフリー選手が走り込み、２点目を決めた。試合はこのままタイムアップを迎え、丹羽高校の総体は幕を閉じた。

本年度に入って２回のリーグ戦に続き、３連敗となるが、敗因の大きな要因として、ヘディング技術の未熟があげられる。浮いたボールをヘディングで処理することが出来れば、中盤のルーズボールやゴール前のクロスを相手選手に奪われることなく、試合を優位に進めることが出来るであろう。

勝利で飾ることはできなかったが、マネージャーを含む８名の３年生は、これで高校での部活動を終えることになる。

サッカーの先発メンバーは１１名、勝負は永久に勝ち続けることは出来ない。高校の部活動で何よりも大切なことは最後までやり遂げることである。少人数ながら、精神的に未熟な下級生を温かい目で見守り、チームを牽引してきた３年生に、試合後、鈴木監督から賞賛の言葉が贈られた。　　（文章　顧問：若原）

３年生の顔ぶれ

マレージャー
辻　ひまり　　大島萌楓